

もうすぐ夏休み。休みになると遊びやクラブに夢中になり、夏休みの宿題や苦手単元の復習が疎かになってしまうお子さんも…。特に受験生の保護者は「このままで大丈夫…？」と不安を抱えている人も多いのでは。「個別指導キャンパス」では長年にわたる教育現場で培ったノウハウを生かし、子どもの成績アップ・志望校合格に導いているという。代表の福盛訓之さんに、この夏を有意義に過ごすためのアドバイスを聞いた。

(聞き手・上部武宏)

夏を有意義に 過ごすために

個別指導キャンパス 代表・福盛訓之さん

お問い合わせ先：(0120) 934830



「生徒一人一人に合わせたオーダーメイドカリキュラムを作成し、集中的に強化します」と話す福盛代表

～夏休みの勉強法～

—夏休み前、どのようなご相談が多いですか？

「勉強のやり方がわかっていない」「学習意欲が持続しない」「苦手教科はどのようにしたら克服できるのか？」といった内容のご相談が最も多いです。

—同塾では、入塾してしばらくすると、「コツコツ自立学習できるよ」と評判ですが、

お子様の現状や性格傾向などを分析することで、自信を持たせてモチベーションを上げる指導を可能としています。

生徒2～3人に対して1人の講師が担当し、常に講師が横についた状態で徹底した反復学習を行います。勉強のやり方指導にも力を入れていたので、「わかる楽しさ」を体験したお子様が自分からコツコ

ツと学習できるようになるのです。

—勉強してほしいと思う反面、思春期のお子さんへの声かけに悩む保護者も。どのように接するのが良いのでしょうか？

親としては心配なあまり、つい感情的になって不平不満を口にしがちです。しかし、人は「勉強しなさい」と言われれば勉強したくなくなるものです。ネガティブな言葉はモチベーションを下げてしまいます。いろいろな口をはさみ

たくなる気持ちをグッとこらえて、お子様が前向きになれるような声かけを心がけるようにしてください。わが子を必要以上に心配するのではなく、きっと明るい将来が待っていると信頼するようにして

ください。

—夏休みを有意義に過ごすためのアドバイス。

夏休みは学校で学習した範囲をじっくり復習できる貴重な期間。学校の授業が無くても早寝早起きを心がける、夏バテしないようにきちんと1日3食とるなど、まずは生活習慣が重要です。また、1日、1週間のスケジュールを立て、学校の宿題をいつまでにどれだけ仕上げられるか、あらかじめ計画を立てておくことも必要です。基礎固めを徹底し、2学期以降の成績アップにつなげていきましょう。お子様自身が自分の可能性を信じ、向学心を持って夢を実現できるように、当塾でもサポートしていきます。